

病虫害発生予察情報

2 月月報

平成 21 年 3 月 11 日
東京都病虫害防除所

1 気象概況

2009 年 2 月	気 温						降 水 量 (mm)		日 照 時 間 (h)	
	最 高		最 低		平 均		本年	平年比(%)	本年	平年比(%)
	本年	平年差	本年	平年差	本年	平年差				
上旬	11.3	2.1	1.4	2.2	6.5	2.4	0.0	0	62.4	100
中旬	13.4	3.6	2.5	2.3	7.9	3.0	22.5	89	56.3	94
下旬	9.2	-0.6	1.2	0.7	5.5	0.4	21.0	113	21.3	42
平均	11.5	1.9	1.7	1.8	6.7	2				
合計							43.5	77	140.0	81

1) 観測地：東京都府中市 気象庁気象観測所

2) 平年差(比)：準平年値(1979～2000年の平均値)からの差(比)

気 温：上・中旬はかなり高く、下旬は平年並みであった。

降 水 量：上旬はかなり少なく、中旬は平年並み、下旬は多かった。

日照時間：上・中旬は平年並み、下旬はかなり少なかった。

<天候概況>

上旬：冬型の気圧配置となる日や高気圧に覆われる日が多く、概ね晴れた。気温は平年より高い日が多く、3日は平年よりかなり高くなった。

中旬：期間の前半は低気圧と高気圧が交互に通過したため曇りや雨の日が多くなり、13日には春一番を観測した。期間の後半は冬型の気圧配置となる日が多く概ね晴れたが、20日は本州南岸を通過した低気圧により雨となった。気温は12日～16日は南から暖かい空気が流れ込んだため平年より高くなり、特に14日は5月下旬並となった。

下旬：21日～22日は高気圧に覆われ概ね晴れたが、その後は本州南岸を通過した低気圧や日本の南に停滞した前線の影響により、曇りや雨の日となった。日平均気温は平年並の日が多くなったが、27日は平年よりかなり低くなった。

2 作物生育概況

(1)野菜類

果 菜 類：促成イチゴ、促成トマトの生育は概ね順調である。果菜類の苗は全体として順調であるが、2月下旬に播種したものは天候の影響によりやや徒長ぎみに育っている。

葉根菜類：キャベツ苗は暖冬の影響により生育が早まっている。ホウレンソウ、コマツナは生育が早まっているものの品質的に問題はない。ハウス栽培のダイコン、トンネル栽培のコカブの生育は順調である。

(1) 野菜の病害虫

トマト(施設・抑制)

灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
葉かび病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
オンシツコナジラミ	< 並 >	発生は平年並みであった。
タバココナジラミ	< 並 >	発生は平年並みであった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

コマツナ(施設)

コナガ	< 少 >	発生は少なかった。
ハモグリバエ類	< 少 >	発生は少なかった。

ホウレンソウ(施設, 露地トンネル)

べと病	< やや少 >	発生はやや少なかった。
ケナガコナダニ	< やや少 >	発生はやや少なかった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

一部の露地トンネル栽培でハコベハナバエの発生が見られた。

詳しくは「平成 20 年度病害虫発生予察情報・特殊報第 1 号(2009 年 3 月 10 日発表)」を参照。

イチゴ(施設)

灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
うどんこ病	< やや多 >	発生はやや多かった。
ハダニ類	< やや少 >	発生はやや少なかった。

(2) 花きの病害虫(施設)

花き共通の病害虫

灰色かび病	< やや多 >	発生はやや多かった。
アブラムシ類	< 少 >	発生は少なかった。

(3) 島しょの病害虫

八丈島：アシタバでカタツムリ類、アブラムシ類の発生が多かった。

ルスカスでカイガラムシの発生が多かった。

野菜類全般でカタツムリ類の発生が多かった。

テレフォンサービス

042(525)8407

インターネットの防除所ホームページ

<http://www.jpnp.ne.jp/tokyo>

病害虫の発生予察情報, 発生状況, 防除方法
などをお知らせしています。